

ロボ団の体験会へお越し頂きありがとうございます。体験会の『みどころ』をお伝えします。

No.1「世界標準教材を使用」

ロボ団で使用する教材は、『マインドストームEV3』です。
レゴ社とマサチューセッツ工科大学が共同開発した10～21歳を対象とした**ロボット教育の世界標準モデル**です。
高専の授業や大学の研究室でも使われている教育に特化した教材です。

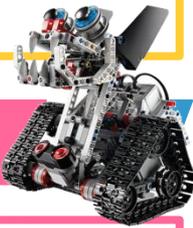


No.2「集中して取り組む姿勢」

ロボ団のレッスンは**3時間/回**です。※学校の授業だと4時限分あります。
ですから、3時間集中して取り組めるよう工夫を凝らしています。
日々の生活と比べて、**ロボ団での取り組む姿勢**をご覧ください。
※ ベーシックコース以上。

No.3「トライ&エラーの大切さ」

ロボ団では、『**小さな失敗体験**』をたくさんします。
ロボ団では、『**失敗は成功のもと**』として捉え、トライ&エラーをたくさん行います。
失敗することで、現状を見つめ直し、常に最善を目指して考え行動できるようになるのです。



No.4「プログラミングへの挑戦」

ロボ団の体験会で初めてパソコンを扱うお子様もいらっしゃいます。しかし、ご安心下さい。はじめは不慣れな手つきでも、どんどん手慣れてキーボード、マウスを使って行っていきます。体験会でも、**数字、Back Space、Enter、Ctrl+Zの入力**を使いこなせるようになります。

No.5「協力して取り組む姿勢」

ロボ団では、**2人1組のペア制**を取り入れています。社会に出ると、個人ではなく集団で成果を発揮する力が特に求められます。また、ロボコンではチーム(2～3名)でのみエントリー可能です。日頃から**チームワークの大切さ、協力することで得られる成功体験**をレッスンを通じて学びます。

No.6「最後までやりきる大切さ」

ロボ団では、『**発表の場**』としてチャンスが2回あります。1回目の結果を踏まえ、2回目に向けて限られた時間の中で、子どもたちは最後まで諦めずにやりきります。あと1歩の粘りが成果につながることをレッスンの中で学び、『**やりきる大切さ**』を身につけます。



1. ロボ団では具体的にどんな力が身につきますか？

私は特に3つの力が身につくと実感しています。

- (1) やりきる力 (GRIT)
- (2) 協調性 (Cooperation)
- (3) 試行錯誤力 (Try&Error)



2. 振替の体制はどうなっていますか？

当校では、補講レッスンの行える専用室を設けています。また補講日に行う希望者が参加する補講レッスンでフォローしています。



3. ロボコンってどんなものですか？

ロボ団が参加するのは、WRO(World Robot Olympiad)という世界60の国と地域の約50,000人が参加する世界的なロボコンです。栃木予選、全国大会(東京)、世界大会が開催されています。



4. テキストはどんなものなの？

タブレットを持ってきて頂き、教材のWebアプリでテキストを開いたり、家庭学習用の教材を使えます。また、動画撮影によってご家族にロボットや発表の様子をシェアできます。プレスターター・ベーシックライトは紙テキストを毎回配布します。(希望によりタブレットで見るテキストも提供可能です) ※タブレットはiPad、Android、AmazonFire等



5. スターターとベーシックの違いは？

授業時間と、内容が異なります。ベーシックの内容をさらにかみ砕いて、低年齢対応したものがスターターです。さらにプログラミングをマウスだけでできるように低年齢対応したものがプレスタータープラスです。



6. ベーシックとベーシックライトの違いは？

プログラミングの難易度は同じです。平日に行う短時間・低価格コンテンツとしてライト版を用意しました。組み立てるロボットを簡単にして時間を短くし、紙テキストにしてアプリの使用料がかからないようにしています。どちらもアドバンスクラスへの進級ができます。

